



JR東日本輸送サービス労働組合 東京乗務分会 NO. 23 湘南comrades 2025年4月30日

緊急！分会安全集会

挟んだら日勤？

個人だけの責任なのか？

あらゆる背後要因を検証し、
安全な東海道線乗務を創りあげよう！

新橋駅で発生したドア挟まりの事象を受けて、会社は、はじめ事情聴取とした日勤を2日間の再教育として事象を起こした乗務員に日勤教育を行いました。本日、分会は事故防止懇談会を開催し、その後緊急の安全集会を開催しました。のべ60名を超える参加で背後要因に潜む原因や会社に対する教育のあり方などに意見が出されました。会社の対策は当該車掌本人に押し付けた対策であり、同事象を防止する視点が全くありません！集会で出された意見をもとに分会は安全議論を行なっています。

設備

- ITV5画面と目視で6箇所を見る。弊害であり見落としが発生しがち
- 品川行きは乗るかわからない旅客、駆け込みが多い
- 一か八かで閉める声も、いままでは運が良かっただけ、いつかまた起こる。

教育

- そもそも日勤にする必要があったのか
- ミスをしたら日勤、このような扱いなら隠すようになる
- 再教育は個人に焦点、4号車のどこで発生しても会社は関係ないだろう。会社説明とお客さまの申告が食い違っている。
- 日勤にするなら本人に納得感がなければ意味がない。
- 乗務員のこと信用していないだね

**改めて新橋駅の立番廃止による安全性の低下は免れません！
分会は安全で安心して労働できる環境作りを求めています！**

乗務員の問題に切り縮める責任追及の企業体質を許さず、施策の検証と事故予防の観点から原因究明、再発防止に向けて職場から議論をつくり出そう！

東京乗務分会で「事故予防委員会」と「緊急安全集会」を開催！
60名を超える仲間が結集し、各機関からも多くの「檄」が届く！